昭和57年10月1日 第278号

市章

広報えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31－2111（代）／〒243

毎月1日・15日発行

世帯と人口

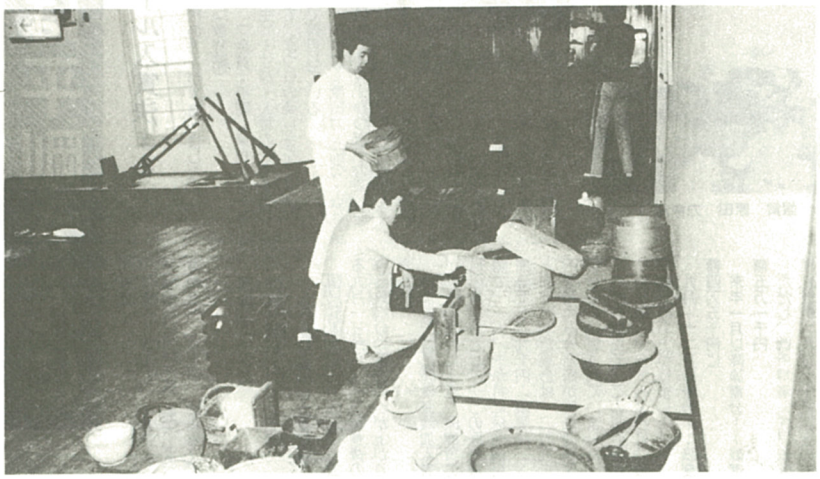
昭和57年9月1日現在

世帯	25,671世帯	（＋47）
人口	85,056人	（＋220）
男	43,653人	女 41,403人

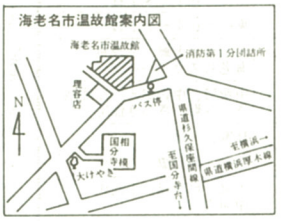
考古・民俗資料など300点展示
名称は「海老名市温故館」に

今月1日 温故館オープン

今年三月一日号の本紙でお知らせした資料館（仮称）が今月一日、いよいよ開館します。約五十年にわたって役場庁舎として使われ、今度資料館となる旧庁舎は、内装も一新され、外装も元どおりに白いペンキで塗装し直されるなど、すっかり生まれ変わり、それと同時に名称も「海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」と決定しました。ここで展示されるおもなものは、一階で考古資料、二階では民俗資料となっていますが、市民のみなさんには無料で見学していただけます。なお、こうした展示・収蔵施設で独立したものが誕生するのは県央地域では初めてです。



昔の農家を訪ねたような…（二階の民俗資料展示室で）



歴史ある旧庁舎

海老名市温故館の建物は国分一九三四にあり、大正七年から昭和四十一年まで約五十年間にわたって役場の庁舎として使われた建物です。

この庁舎の完成当時は時代の最先端を行く近代的建築で、当時、上級官庁として権威の象徴でもあった郡役所と同じ規模・様式を誇る本格的な西洋建築として人々の関心を集めました。

現在、県内でこれと同時代、同様式の建物は藤沢市に一棟あるだけで、文化財的な存在であり、また、駅からも近く、すぐ前にバス停があるなどの交通の便利さもあって、郷土資料館としては最適の建物です。

展示されるもの

展示されるものは、まず一階が、市内から出土した土器、石器、また、相模国分寺のカワラなどを中心とした考古資料で、これらの合計点数は約二百点です。

土器は、市内から出土するものの場合、時代的に縄文期、奈良、平安期のものが多く、中でも中土合横穴古墳から出土した奈良時代末期のものと思われる須恵器は注目すべき存在です。

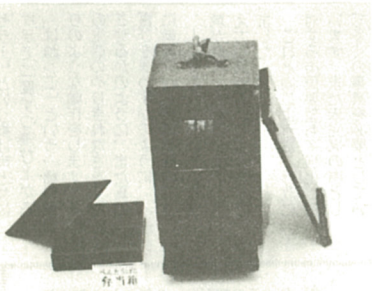
石器は、打製、磨製ほぼ同数近くあり、石斧、矢じりが中心ですが、上浜田遺跡から出土した玦状（けつじょう）の耳飾りは縄文時代早期の副葬品と推定されており、市内としては珍しいものです。

相模国分寺跡地から出土したカワラは軒丸ガワラ、軒平ガワラに分けられますが、美しい模様がつけられた古代のカワラは見る者にかつての相模国分寺の壮麗さを想像させます。

これらのほか、一階には刀剣などの武具、鉄製品なども展示されます。

二階は、民俗資料の展示場として、農具や古民具などが展示されますが、民具で大きなものはタンスから、小さなものは弁当箱、茶わんまで、また農具ではスキ、クワから縄編み機などの合計約百点が展示されることになっており、全体として海老名の昔の農家を訪ねたような雰囲気の配置が行われます。

なお、今後の海老名市温故館の展示計画では、特別展示として年二回くらい会場の一隅を模様変えし、あるテーマに基づいて展示物を集めてみなさんに見ていただくことが計画されています。



▲弁当箱（民俗資料展示品の一部）…時代としては明治初期ごろのものと思われます。4重がさねの豪華な形状から、庶民のものとは考えにくく、当時の上流階級の人が使ったのでしょう。

将来の温故館

将来実施が見込まれる事業は次のとおりです。

＜郷土史講座の開催＞

郷土史家や有識者を講師に招いて講演会や講座を開き、市民のみなさんに郷土史に対する知識を高めていただきます。

＜定期刊行物の発行＞

"温故館だより"といった定期刊行物を発行して、郷土史に関する研究発表や温故館の活動内容の紹介、また考古・民俗資料に関するニュースなどを発表することによって郷土史研究、文化財保護の啓もうを行います。

＜資料の充実＞

古民具などの民俗資料を充実させるとともに、武具や骨とうなども見るべきものをもっと集めるべきですが、これには相当の時間と費用がかかるでしょう。

＜民俗資料、考古学資料の調査＞

市に関する民俗・考古学資料の内容、種別、所在などを明らかにした目録づくりを行います。

＜施設の充実＞

資料の何分の一かを展示品としてみなさんに見ていただくわけですが、展示されない資料を整理して収納しておく収蔵庫は、先のことを考えると現在のものではやや小さめで、将来は他所に作るなどの必要が生じるでしょう。

昔の学校や駅などの古い貴重な写真なども重要な資料のひとつとして扱い、展示すれば、来館者の関心を呼ぶのではないかと思います。

子供たちにとっても社会科の勉強に効果ある施設になると思いますが、今の子供は、こうしたものを興味本位でしか見ないという傾向がありますから、昔の人々の生活はこんなふうだったんだな、と実感できるような展示方法を考えていただきたいですね。

いずれにせよ、この温故館は、市の長く輝かしい歴史を象徴する施設、さらに将来の特色あるまちづくりにも役立つ施設になるのではないかと期待しています。

▶おひつ入れ（民俗資料展示品の一部）……ご飯がさめないように考え出されたもので、ワラでできています。

歴史象徴する施設

広田敏之さん（中新田、35歳）

海老名市温故館では、考古・民俗資料の展示事業のほかに、郷土史講座などを数多く開催していただきたいと思います。

また、展示されるものは、十分な配慮が加えられると思いますが、今では見られない

開館時間など

◇開館時間
午前九時～午後五時

◇休館日
毎週月曜日と国民の祝日。ただし、祝日が月曜日に当たるときはその翌日も休館します。
年末は十二月二十八日～三十一日まで。年始は一月二日～四日までをそれぞれ休館日とします。

◇海老名市温故館に関する問い合わせ先
〒二四三 海老名市国分一九三四（☎33・四〇二八）。

金賞は平剛さんに

写真コンクール入賞決まる

八月七日・八日の両日行われた第七回えびなふるさとまつりをテーマとした写真コンクールの入賞者が決まり、九月三日、市役所で表彰式が行われました。

コンクールには、百点もの応募があり、専門家の審査を経て次の方々が入賞しました。（敬称略）

▽金賞＝平剛（東柏ケ谷・学生）＝寸評＝人物の表情を通して、まつりの楽しさをイメージで表現している。

▽銀賞＝原田力（国分・会社員）＝寸評＝かつぎ手の楽しそうな表情がよくとらえられている。

▽銅賞＝上島信一（国分寺台・会社員）＝寸評＝縁台将棋の楽しさが伝わってくる。

金賞　平　剛さん

銅賞　上島　信一さん

銀賞　原田　力さん

国民健康保険

2段階で引き上げ

高額療養費の自己負担額

国民健康保険法の改正で、去る九月一日から「高額療養費の自己負担分の限度額」が上がりました。

いままで国民健康保険加入者が診療をうけたとき、医療費の自己負担分として一つの医療機関で、一人、一か月（保険適用部分で三万九千円（限度額）以上を支払った場合は、三万九千円を超える分全額が国民健康保険から払い戻されていました。

今回の改正で、この限度額が九月診療分から次のように二段階に分けて上がりました。

九月～十二月診療分＝限度額四万五千円に

来年一月以降診療分＝限度額五万一千円

ただし、低所得者（住民税非課税世帯）及び七十歳以上の方と六～十五歳以上で寝たきりの方は、いままで通り三万九千円の限度額に据え置かれました。

ご利用ください

高額療養費支払い資金の貸付

高額療養費支払い資金の貸付とは、国民健康保険に加入されている方が、入院費など医療費が高額で支払いに困ったときに、一定の範囲内で市から資金をお貸しする制度です。

▽対象＝国民健康保険の被保険者で、差額ベッド料金などの保険対象外の料金を含まない医療費の自己負担額が、一人、一か月、一つの医療機関で高額療養費の自己負担限度額（自己負担額のうち四万五千円＝来年一月診療分からは五万一千円＝。ただし住民税非課税世帯と七十歳以上および六～十五歳以上の寝たきり老人については三万九千円）を超えてその支払いが困難な方。ただし、入院と通院は別々に計算します。▽貸付金の額＝自己負担額のうち高額療養費の自己負担限度額を超えた額▽利子＝無利子▽返済方法＝高額療養費が支給されたときに精算借金▽申し込み＝医療機関が発行した請求書で保険適用分の内訳が記入されているもの、またはこれに代わるものと市国民健康保険証、印鑑を持参のうえ、保険年金課へ。

市長随想

紅葉

八月に十和田湖へ行ったとき、こちらの紅葉はきれいでしょうね、と土地の人に話しかけたら、いや若葉の季節が最高です、と返事が帰ってきました。たまたまお出身の人で、この話をしたら、同じように春がいいですね、といっていました。

紅葉の季節の次は厳しい冬の生活が待っており、紅葉の美しさを素直に受け止めることができないのでしょうか。反対に若葉の季節は長い閉じ込められた冬の生活から開放される喜びもあって新鮮な感じを受けるのでしょう。

青森のねぶた祭りで、"ラッセラー。"という掛け声と共に片足で二度ずつ飛び上がる「はねっこ」という一種の踊りのような動作をします。冬の生活のやりきれなさを発散させるかのように、また夏の喜びを表わすかのように、誠に単純ながら実に熱狂的です。

人えそれ置かれている環境が違うと、受け止め方、考えが違うということを感じました。

これと同じように、行政に対する市民要望も多様化しています。また未完成の市として、なくてはならない事業を必要としています。しかし限られた予算ですので要望の中から最大公約数を選択する必要があります。

青森へは退職金制度の研修で行ったのですが、違った面でも良い研修になりました。

市長　左藤　究

親睦を合い言葉に

10月10日、10会場で市民レク

地域の市民のみなさんが一堂に会して開かれる「市民レクリエーション大会」が、今年も10月10日、市内10会場（表）で一斉に行われます。

各地区自治会が中心となって開かれるこの大会は、親睦を合い言葉に、いろいろな種目が工夫され、年々盛んになってきています。あなたも参加して健康の増進に役立ててください。

会　場	期日	予備日	対　象（自治会）
海老名中学校	10・10	10・11、10・17	国分第1～5区、望地 勝瀬
大谷小学校	〃	10・11、10・17	大谷、海老名みずほハイツ 国分寺台、浜田町 国分寺台3～5丁目
上星小学校	〃	10・11	上今泉、上今泉1～5丁目
柏ケ谷小学校	〃	10・11	柏ケ谷 東建ニューハイツ海老名 東柏ケ谷1～3丁目
東柏ケ谷小学校	〃	10・11	東柏ケ谷4～6丁目
有鹿小学校	〃	10・11	河原口、上郷、下今泉 海老名スカイハイツ
中新田小学校	〃	10・11、10・17	中新田、中新田ときわ団地 さつき町、さつき住宅
社家小学校	〃	10・17	社家、今里
門沢橋小学校	〃	10・11	中野、門沢橋
有馬小学校	〃	10・17	本郷、杉久保、上河内 中河内

住みよい街に

11日～20日　全国防犯運動

「カギかけは家族みんなの合言葉」のスローガンのもとに、十月十一日から二十日までの十日間、全国防犯運動が実施されます。今回の運動のねらいは、あき巣などの侵入盗、少年非行の大部分を占める自転車、オートバイなどの乗物盗（万引き、金融機関強盗を予防することです。

運動期間中は、市・防犯協会となって防犯パトロールや防犯指導を推し進め、犯罪の予防に努めます。

犯罪のない明るく住みよい街づくりを目指して、みなさんのご協力をお願いします。

道路清掃で表彰

建設大臣から2つの老人クラブ

道路の美化清掃に顕著な功績があったとして、市内の中河内地区老人会（宮崎二二会長、四十四人）と国分寺台老人クラブ第二若木会（牧野新夫会長、七十二人）の二団体が建設大臣から表彰され、九月六日に県庁で両会長に伝達されました。

これは建設省が提唱している道路を守る月間（八月）の一環として、道路清掃などに努め、その功績が顕著な民間の団体、または個人を表彰するもので、今回は、全国で十七個人、三十八団体、県内で二個人二団体が表彰されました。市内でこの種の建設大臣表彰を受けるのは初めてのことで、今後もさらに地域美化の推進への活躍が期待されます。

表彰された二団体の主な事績は次の通り。

中河内地区老人会　同地区内の貴日土（きびと）神社と周辺の有馬小、有馬中に通じる市道延長一㌔㍍にわたり、空き缶などのゴミ拾いや枝おろしなどの作業を月二回、昭和四十一年から十六年間続けられ、地域の環境美化に貢献されました。

国分寺台老人クラブ第二若木会　国分寺台四丁目のバス停留所付近の市道約三百㍍にわたりタバコの吸いがらやゴミの投げ捨てが多く、美観上好ましくないことから、ゴミ箱、吸いがら入れを設置したほか、月二回のゴミ回収と道路清掃、そして国分寺台第四児童公園のゴミ拾いなどを昭和四十七年から十年間続けられ、地域の環境美化に貢献されました。

今月のプロフィル

厳しい練習に耐えて

県警カラーガード隊隊員　山崎令子さん（東柏ケ谷）

神奈川県警察のカラーガード隊は、全国一の伝統とレベルを誇っている。正式には神奈川県警察本部総務部広報課音楽隊に属し、男子音楽隊員とともに展開する華麗な演技をご覧になった方も多いことと思う。

身長百六十㌢以上、二十二歳以下で独身、スマートで健康・清潔な婦人警官であることなどカラーガード隊員となるには厳しい条件がつけられている。

「どんな天候の日でも練習は一日中続けられますから、つらい時もありますが、演技の後の観客のみなさんの拍手を思うと、それも苦になりません」

小麦色に日焼けした顔にクルクル動く快活な瞳が三十歳になった「ばかりという若さをふいまいている。もちろん、身体も健康美にあふれた活発なお嬢さんだ。

婦警さん2年生

「婦人警官になって毎日が充実しています。でも、勤務時間が朝から夜まで長時間の日も多いし、圧倒的な男性社会なので、気を使うことも多いですから、外から見るよりたいへんなんですよ」

婦警さんになって二年目、最初は小田原警察署に勤務して交通取り締まりを担当したが、今年初め、今の隊へ異動し、四月にデビュー。"任期は一年である。来年になればいずれかの署で"普通の婦警さんの職務"にもどる"ことになる。

日曜・祝日は各地から要請されて演技する日が多く、ほとんど休みなし。年こうなのにデートもままならない状態だが、「今のところ"募集中"です。しっかりした人がいいですね。そういう点では同僚の警察官の方にはそういう人も多いですし…」

日本の警察音楽隊に最初に組織されたカラーガード隊の第九期生十四人の一人として、全国の警察の同様の隊から『目標』とされる重みをしっかりと受け止めながら、今日も練習に励んでいる。

趣味はドライブとユーホニウムを吹くこと。家族はご両親とお兄さんの計四人。東柏ケ谷在住。

赤い羽根共同募金　10月1日から

9月価格情報

（単位：円）

品目	単位	大型店 平均価格	大型店 最多価格	中小店 平均価格	中小店 最多価格
しょう油	パック1ℓ	258(▲2)	268	270(0)	278
みそ	袋入1kg	335(2)	338	303(▲3)	298
砂糖	白1kg	270(0)	268	274(16)	280
マーガリン	パック225g	184(4)	185	205(−)	−
サラダ油	ボリ700g	341(−)	358	305(−)	298
マヨネーズ	ボリ500g	321(−)	338	331(−)	338
小麦粉	薄力粉1kg	185(▲2)	183	200(0)	200
牛乳	パック1ℓ	190(▲22)	198	215(▲4)	230
鶏卵	M10個	198(▲38)	198	206(22)	200
かまぼこ	160g	146(0)	148	147(2)	150
即席ラーメン	100g	62(0)	62	63(0)	65
有リ合成洗剤	箱2.65kg	910(▲7)	910	884(▲13)	910
無リ合成洗剤	箱2.65kg	975(58)		880(▲74)	890
粉石けん	袋3kg	843(▲95)	850	829(▲55)	850
灯油	配達18ℓ	−(−)		1755(107)	1800

価格は、市消費生活モニター30名の協力を得て9月初めに調査した通常平均価格です。（　）内は前年同月比で▲は安。

消費者の声＝灯油は需要の少ない夏場に値上げされるということがわかりました。中小店では粉石けんをあまり見かけません。

善意のいずみ

市の社会福祉事業に次の方々から寄付がありました。ありがとうございました。（敬称略・順不同）

桜井久男（国分寺台）二十万円、剣持舞踊（松若流・幸雅流・一条流（代表・瀬戸隆）三十万円。

お知らせ

相談

◆県民相談車が海老名駅前に

とき　10月8日（金）午後1時～6時

ところ　海老名駅東口前

内容　県と市が合同で、あらゆる相談に専門の相談員が応じます。

①行政……県や市の仕事についての意見、要望、お問い合わせなど。

②交通事故……交通事故の損害賠償、示談、交渉の進め方など。

③法律……いろいろな紛争解決の方法（示談、調停、訴訟）など。

④その他……生活上の心配ごとなど、どんなことでも。

◆行政相談を特設

とき　10月16日（土）午前9時～正午

ところ　市役所相談室

内容　税金、交通安全、消費者保護などみなさんの日常生活におけるいろいろな悩みごとなどの相談

相談員　（行政相談委員）

亀井英男（向原口465　☎31・4715）

萩原松三（柏ケ谷865　☎31・4554）。

◆難病（特定疾患）の相談会

原因不明で治療方法未確立の難病（特定疾患）の患者や家族の方を対象に、専門医、保健婦、ケースワーカーが相談に応じます。いずれも時間は、午後1時半～4時　①10月29日（金）津久井保健所　▷対象疾患＝全身性エリテマトーデス、ベーチェット病など膠（こう）原病　②11月12日（金）大和保健所　▷対象疾患＝再生不良性貧血、特発性血小板、減小性紫斑病　③11月18日（木）相模原保健所　▷対象疾患＝潰瘍（かいよう）性大腸炎、劇症肝炎、クローン病　④11月29日（月）厚木保健所海老名支所　▷対象疾患＝バーキンソン病、重症筋無力症など神経系疾患全般　▷申し込み＝①は今月20日までに、②～④は今月末までに電話で厚木保健所（☎24・1111）。

催し物

◆成人学級

「続海老名の自然を訪ねて」と公開講座

秋の植物を中心とした海老名の自然に親しむ機会を設けました。

▷とき・ところ＝10月16日～12月8日の間の計7日間、午前10時～正午（10月16日・11月13日・12月4日は午後2時～4時）市立中央公民館（野外観察もあり）

成人学級日程

月日	内容
10月16日（土）	開級式 秋のあぜ道（沖積平野）
18日（月）	本の実、草の実、きのこ類子
11月13日（土）	秋の雑木林（座間丘陵）
18日（木）	照葉、紅葉、落葉
25日（木）	秋のかし林（相模野台地）
12月4日（土）	草本の冬支度 閉級式
8日（水）	公開講座 日本の自然・海老名の自然

▷内容＝表参照　▷人員＝市内在住・在勤の成人40人先着順、公開講座は100人先着順　▷講師＝大谷中学校長　竹内清先生、公開講座のみ横浜国立大学教授宮脇昭先生　▷費用＝無料　▷申し込み＝10月13日まで（公開講座は10月30日まで）にハガキまたは電話で住所、氏名、電話番号を明記して社会教育課。

◆危険物取扱者試験受験準備講習会

市危険物安全推進協議会では、11月中旬に予定されている危険物取扱者試験を受ける方を対象に、受験準備講習会を開きます。

▷とき・ところ＝10月17日（日）午前9時半～午後5時、市立中央公民館　▷人員＝120人先着順　▷費用＝受講料2,500円　▷申し込み＝直接に市消防本部。

◆点字講習会（初心者向け）

▷とき・ところ＝10月18日～来年1月17日の間の年末年始を除く毎週月曜日、午前10時～正午、全10回、市立中央公民館　▷講師＝県ライトセンター派遣講師　▷内容＝基礎的な点訳技術の習得と視覚障害者との接し方など　▷人員＝30人　▷申し込み＝市社会福祉協議会（☎31・2111）。

◆録音講習会（初心者向け）

▷とき・ところ＝10月20日～来年1月19日の間の年末年始を除く毎週水曜日、午前10時～正午、市役所福祉会議室　▷講師＝県ライトセンター派遣講師　▷内容＝録音技術、発声、編集方法の習得と視覚障害者との接し方など　▷人員＝30人　▷申し込み＝市社会福祉協議会（☎31・2111）。

◆フォークダンス初心者講習会

10月22日～12月10日の間の毎週金曜日午後6時半～9時、県立海老名青少年会館　▷内容＝ウォーキングステップ、ツーステップなどの基本ステップと世界各国のフォークダンス30曲以上　▷主催＝海老名フォークダンス愛好会　▷共催＝県立海老名青少年会館　▷人員＝30人先着順　▷申し込み＝県立海老名青少年会館（☎31・9787）か電話で海老名フォークダンス愛好会会長　加藤（☎38・2294、午後6時以降に限る）まで。

◆統計グラフコンクール作品展

市内小中学生の作品を主とした県統計グラフコンクール応募作品展を行います。

▷とき・ところ＝10月14日～18日、ニチイ海老名店文化ホール　▷主催＝海老名統計調査員の会。

◆さがみ野ふるさとまつり

10月17日（日）午前10時～午後4時、県立相模原公園（相模原市下溝地内）▷内容＝おまつり広場、民芸手作り教室、さがみの市場、相模の大ダコ揚げなど　▷共催＝さがみ野ふるさとまつり実行委員会、県央地区行政センター　▷問い合わせ＝県央地区行政センター県民部県民課（☎24・1111）。

お知らせ

◆聞き方・話し方講座

▷とき・ところ＝11月12日・15日・19日、午前10時～正午、市立中央公民館　▷内容＝すばらしい人間関係をつくるために①基礎編＝人間関係と話し方②技能編＝話を効果的のするには③公共話法編＝大ぜいを対象に話すために、の三段階に分けて講義　▷講師＝HR総合リサーチ所長　鈴木康之　▷対象・人員＝市内在住の成人30人、先着順　▷申し込み＝電話で市選挙管理委員会事務局（☎31・2111）　▷主催＝市明るい選挙推進協議会。

◆県政に親しむつどい

11月12日（金）午前9時半から（雨天決行）　▷見学場所＝県消防学校、川崎市南部防災センター　▷集合場所＝午前9時15分までに本厚木駅南口大和銀行前　▷人員＝100人、多数の場合は抽選　▷申し込み＝往復ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入して10月23日までに県央地区行政センター県民部県民課（厚木市水引2－3－1　☎24・1111）ハガキには1枚に1人のみ記入　▷その他＝昼食は各自持参。

◆みんなでくらしを考えるつどい

県厚木消費生活センターでは、みなさんから募集した論文の発表会を開きます。

▷とき・ところ＝10月22日（金）午後1時～3時、座間市東地区文化センター（座間市栗原3594－1　☎53・0781）　▷内容＝くらしの中の安全性、地域における消費者活動などに関する各記録・体験文の発表　▷問い合わせ＝県厚木消費生活センター（☎23・6411）。

◆ソフトボール大会

10月24日（日）・31日（日）午前8時から、上郷スポーツ広場　▷参加資格＝単位自治会で構成された男女別チームで、男子は30歳以上で構成されたチーム。女子は既婚の方で構成されたチーム　▷申し込み＝10月16日までに社会教育課にある応募用紙に必要事項を書き込み同課へ。

◆安売りデーは第2金・土

とき　10月8日（金）・9日（土）

ところ・店頭に黄色の旗を掲げた協力店

品物・当日、店頭に掲示板で

価格・市場などの協力を得て廉価で

主催・市商工会

市役所から

◆外国人登録が変わります

いままでの外国人登録は、3年ごとの確認申請をするなど煩雑な手続きを必要としていましたが、5年ごとの確認申請になるなど全般にわたり簡略化され、今月1日から次のようになります。なお、申請書類などの形式はいままで通り。

確認申請（登録証明書の切り替え申請）

①いままで出生した時に新規登録をし、その後3年ごとの確認申請を義務づけられていましたが、改正後は、16歳未満の方は、確認申請をする必要はなくなりました（確認申請不要措置）。しかし、16歳に達するとその日から30日以内に同申請を行うことになります。なお、出生した時に新規登録をするのはこれまでどうりです。

②ただし、16歳未満の方であっても、すでに申様式（大人用、手帳型＝改正前は、14歳になったときに交付）の登録証明書の交付を受けている場合は、次の③と同様の扱いです。

③16歳以上の方は、確認の申請を5年ごと（2年延長措置）に行うことになりますから、いまお持ちの外国人登録証明書の11ページに記載されている年月日からさらに2年を経過する日前30日以内に確認の申請を行うことになります。

④昭和57年9月30日の時点で確認申請期限を経過している場合は、その申請を行うまで、①の確認申請不要措置や③の2年延長措置の適用はうけません。

登録証明書の携帯、本人出頭申請、写真提出及び指紋押なつの義務年齢の引き上げ

これまで登録証明書の携帯、本人出頭申請、写真提出及び指紋押なつを必要とする年齢は14歳以上であったのが、改正後は16歳以上となります。

▷問い合わせ＝市民課。

◆事業所変動に関する調査

昨年7月1日現在で、すべての事業所を対象とした事業所統計調査が実施されました。この調査は、3年ごとに実施されていますが、この度、その中間年において事業所の新設・転廃業などの変動状況を把握することになりました。

そのため、10月から11月にわたり市から電話による照会、または調査員が伺いますので、よろしくご協力ください。

▷問い合わせ＝企画調整課。

◆現況届など未提出の方へ

児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届、または所得状況届の提出期限が過ぎました。提出されない場合は手当を支給できなくなります。未提出の方は至急提出を。

▷問い合わせ＝福祉課。

◆清掃関係職員を募集

――高座清掃施設組合――

▷募集人員＝若干名　▷資格＝昭和27年4月2日から昭和40年4月1日までに生まれた方　▷受付期間＝11月1日～6日　▷試験日＝11月15日　▷申し込み＝高座清掃施設組合庶務課（☎38・2094）。

生活用品交換情報

＜譲ります＞ガスオーブン、マットレス、自転車（子供用・大人用）、ベッド。

＜求めます＞ベビーバギー、2段ベッド、自転車（20インチ）、網戸、衣類乾燥機、かけ時計、整理ダンス。

▶登録期間は3か月間。交換はマナーを守り登録者同志直接に。紹介を受けたあとは、交渉結果を必ず商工課まで報告を。

▶情報・問い合わせは、商工課まで。

フォトニュース

▲敬老のつどい開かれる

9月10日、市文化会館で「敬老のつどい」が開かれ、招待された75歳以上のお年寄りは、97歳の佐藤伊平次さん（上今泉　写真中央）らの紹介や演芸などで楽しい時を過ごしました。

▲好評、ジャズダンス

門沢橋小学校ＰＴＡのお母さん方が中心となって結成した健康クラブでは、週2回、同小体育館でジャズダンスを練習。美容と健康に良いと、なかなかの評判です。9月12日。

▲ずきんをプレゼント

ホームヘルパーが家庭で介護する方にずきんをプレゼント。写真は、9月14日、植松洋子さん（写真左　国分寺台）宅で。

▶いざという時のために

九月一日、市総合防災訓練が実施され、中央会場の東柏ケ谷近隣公園には千四百人以上の市民が集まり、応急手当・初期消火などの各種訓練を行いました。

▲左右を確認

9月16日、市老人クラブ会員を対象に交通安全教室。中新田の交通公園で。

◀おいしくて安全

「食べもの」をテーマに九月十一日～十三日、ニチイ海老名店あじあじ通りで「みんなの消費生活展」が開かれました。写真は無添加健康飲料の試飲から。

声の広場

投稿は住所、氏名を忘れずに〒二四三　海老名市国分一五五海老名市役所秘書広報課まで

「望みの会」発会

九月十五日には、各地区でいろいろな敬老の催しが開かれたことと思います。わが望地地区でも、民生委員の佐藤千恵子さんが六十歳以上のみなさんを望地公民館に招待して、「望みの会」という敬老の催しを開き、四十三人が集まりました。

私も招待された一人ですが、市の敬老のつどいで長寿夫妻として紹介された北村広助・きみ子ご夫妻の踊りを始めとして、アコーディオンの演奏や歌と、みなさんが得意の芸を披露され、楽しい一時を過ごしました。

いままでこうした地域の年寄りがみんなで集まるということはありませんでした。それが佐藤さんやボランティアでこの会の準備をしてくれた人のおかげで新しく望地に来られたお年寄りとも知り合うことが出来ました。心から感謝申し上げます。

さて、望みの会という名は、望地の望老をとってつけたのですが、一年に一回だけというのはさみしいから、一か月に一回は集まって親睦をはかろうではないかとも決まり、これからの集まりを楽しみにしています。

鈴木又一（望地・83歳）

長寿夫妻も踊りを披露…

サマーキャンプ

海老名中学校の生徒四十三人と同学校区青健連（青少年健全育成連絡協議会）役員、地区青少年指導員十七人が参加して、八月十一日から十三日まで伊勢原市の日向（ひなた）山荘キャンプ場でサマーキャンプをしました。

秦野市蓑毛（みのげ）から歩き、ヤビツ峠をへて大山に登り、山頂で昼食後、見晴台、九十九曲りを降りて日向のキャンプ場へ着きました。

キャンプでは、昼間は巣箱作りと巣箱かけ、そしてますのつかみ取り、夜は野外映画会やキャンプファイヤーを大人も子供も一緒になって楽しみました。

海老名中学校区の青健連では五十五年からサマーキャンプを実施していますが、キャンプの主旨については理解していただいても、各団体がそれぞれ活動しているため、協力しあって実施することは大変です。これからも続けて行くにはいくつかの問題が出てくると思いますが、同じ地域に住む大人と子供がキャンプを通してふれあい、意志の疎通をはかるという主旨を生かして行きたいと思います。

今回のキャンプで子供たちが得たものはそれぞれ違うかもしれませんが、青春の思い出として心のかたすみに刻みこまれたものと信じています。

海老名中学校青少年健全育成連絡協議会会長　安藤　勇

楽しかったキャンプ

海老名むかしばなし

第52話　大山道を訪ねて　その1

私たちの市の西方、丹沢山塊の南端に美しいピラミッド型の姿を見せている大山は、古くから庶民の信仰の山として人々に尊ばれてきました。

中でも、相模の国や房総、駿河の国の人々には生活に密着した山として親しまれていました。

農民にとっては豊作祈願の山ですし、また乾期の雨乞いには欠かせない山でした。さらに漁民にとっては航海の目標でもあり、漁業の守護神でもあったわけです。

この山は別名、阿夫利山（＝雨降山＝あふりさん）ともいわれ、また、石尊大権言（せきそんだいごんげん）を祭ってあるところから石尊山（せきそんさん）とも呼ばれています。

もともとは相模国御岳（さがみのくにみたけ）と呼ばれる厳しい修験道場の山であって、一般の人々にはほとんど開かれていませんでしたが、江戸時代になると石尊権言が授福除災の神様であるというところから、毎年の例祭には江戸はもとより関東一円から大山講とか不動講などといって、たくさんの団体登山が行われました。

「新編相模風土記稿」によると、例祭は六月二十七日から七月十七日までの二十日間なり。六月二十七日より晦日（みそか）迄（まで）を初山と唱え、七月朔日より七日迄を七日堂、八日より十二日迄を間の山、十三日より十七日迄を盆山と称す」とあります。

祭れが近づくと江戸の人々などは隅田川などで水垢離（みずごり）をとって、身体を清め、奉納するための大きな木太刀（きたち）をかついで大山参りに旅立ちました。こうして大山を中心とした全国へ広がる大山参りの道ができたわけです。

明治末期に書かれた「大山史」には、「県下至る所、大山道のあらざるなく、山中田野、将（は）た海辺に大山道と記せる石標の実に累々たるを見るべし。大小岐路いやしも其一端が大山に達するものは悉（ことごと）く大山道と名づく。其岐路に至って人の迷う所には必ず大山道の石標を設立せり。……」と記してあるそうで、さらに七つの大きなルートを挙げていますが、本市に関係のあるものは、一八七七年に発行された「大山敬慎講社定宿」という小冊子にも記されている二つの道です。

第一は、東京から長後を通り東海道を経て大山まで（柏尾道）、第二は、東京から青山を通り大山まで（青山道）です。

それでは、これから以上の二つのコースをもとにして、さらに二つの枝路を求め、本市にお住まいの金石文の研究家、篠崎信先生の調査された野立ちの仏様を尋ねながら歩いてみましょう。

（浜田二郎氏＝本郷＝から寄稿されたもの）

海老名を通る大山道